

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護過程Ⅳ Process Planning for Care Work Ⅳ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (介護福祉士養成課程 必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
介護過程Ⅰ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護過程Ⅲ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
森 千佐子	福祉棟 2F	月・水・金曜日 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「介護過程Ⅳ」では、「介護過程Ⅰ～Ⅲ」での学びをもとに、介護過程におけるチームアプローチの必要性を理解し、関連職種の役割およびチームにおける介護福祉士の役割について学習する。また、チームカンファレンスの意義および運営方法について理解する。				
授業の到達目標				
①チームアプローチの意義と関連職種の役割について理解できるようにする。 ②チームにおける介護福祉士の役割を理解し、他職種との連携の必要性と方法について理解できるようにする。 ③チームカンファレンスの目的および運営方法について理解できるようにする。				
授業の方法				
講義のみでなく、事例をもとにしたグループディスカッションやロールプレイを組み入れる。また、他職種との連携を考えるために職種調べを分担し、発表を行う。				
学習の成果				
①介護におけるチームアプローチの必要性について、具体例を挙げて説明することができる。 ②介護過程とケアマネジメントとの関連について説明することができる。 ③チームアプローチにおける介護福祉士の役割について、具体的に説明することができる。 ④介護福祉に関連する職種の根拠法や役割(仕事内容)、就業場所などについて説明することができる。 ⑤チームカンファレンスの目的と運営方法がわかり、発言の際の留意点や司会の機能を列挙することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業ガイダンス(授業のねらい・評価の方法・演習時の注意など) 介護過程におけるチームアプローチ 【講義】			
第2回目	介護過程とケアプラン(介護サービス計画) 【講義】			
第3回目	関連職種の役割① 【講義と演習】			
第4回目	関連職種の役割② 【職種調べ】 (職種調べの資料を第5回目の授業前日までに提出)			
第5回目	関連職種の役割③ 【発表】			
第6回目	関連職種の役割④ 【発表】			

第7回目	関連職種の役割⑤ 【発表とまとめ】		
第8回目	事例から考える介護福祉士の役割および関連職種との連携① 【グループディスカッション】		
第9回目	事例から考える介護福祉士の役割および関連職種との連携② 【グループディスカッション】		
第10回目	事例から考える介護福祉士の役割および関連職種との連携③ 【発表とまとめ】		
第11回目	チームカンファレンスの目的と運営方法 【講義】(事例から考える介護福祉士の役割)のレポートを提出)		
第12回目	チームカンファレンスの実際① 【講義】		
第13回目	チームカンファレンスの実際② 【ロールプレイ】		
第14回目	チームカンファレンスの実際③ 【ロールプレイ】		
第15回目	チームカンファレンスの実際④ 【まとめ】(ロールプレイの振り返り用紙を提出)		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		20%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、不明な点は質問すること。また、グループディスカッションやロールプレイに積極的に参加し、他者の意見を聴き自分の意見を述べること。
レポート		30%	S評価のレポートは、チームアプローチの必要性、他職種の役割を理解した上で、実習での体験も踏まえ、事例をもとに介護福祉士の役割および関連職種との連携について、自己の考えが具体的に記述されていること。
調査報告書		20%	担当した職種について、根拠法や役割などについて調べて発表する。S評価の報告書は内容が正しく、わかりやすくまとめていること、使用した文献や資料を明らかにしていること。(内容については、授業で説明する。)
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)		30%	以下が評価の視点である。①職種調べ：聞き取りやすく、質問に的確に答えている。②グループディスカッションの内容：わかりやすく、学びが具体的である。③ロールプレイ：十分に準備し役割に応じた発言をしている。
その他			
教科書と参考図書			
教科書：新・介護福祉士養成講座 第9巻 「介護過程」 中央法規出版			
履修上の心得・ルール			
演習科目であり、学生の個人ワークやグループ演習が中心である。積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。			